

令和2年度 専任教員授業分担
(実務経験のある教員等による授業科目一覧)

2020. 4. 1

授業科目	内容	総時間数	単位数
基礎看護学概論	看護の基本となる概念を理解し、看護学に興味・関心を高め、看護の本質を深く追求する姿勢を養うとともに、専門職としての看護のあり方を考える	30	1
基礎看護学方法論 I (看護技術概論)	技術の概念を明かにし、人間を対象とする技術の特性を理解する 感染予防対策の基本的考え方と衛生的手洗方法の実際を学ぶ	30	1
基礎看護学方法論 I (観察・記録・報告)	観察の意義とその方法を理解する 記録・報告の意義目的を理解する		
基礎看護学方法論 I (呼吸・循環・体温)	バイタルサイン測定の意義を理解し正確な測定を学ぶ		
基礎看護学方法論 I (コミュニケーション)	コミュニケーションの概念と技術を理解し対象との関わりについて考える		
基礎看護学方法論 II (環境)	生活環境調整の意義と方法を理解する	60	2
基礎看護学方法論 II (清潔・衣)	清潔・衣生活への意義を理解し、身体の清潔の援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 II (食事)	食事の意義を理解し、食事の援助を学ぶ 口腔ケアの意義を理解し、援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 II (姿勢・体位、ボディメカニクス)	看護援助における安楽の意義について理解する 対象・看護師両者の身体に負担をかけず効果的な姿勢・動作を行うためのボディメカニクスの原理を理解し、それを活用した安楽な姿勢および安全な移動・移送の援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 II (活動、休息)	活動・休息の意義を理解し、援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 II (排泄)	排泄の意義を理解し、自然排泄の援助を学ぶ 排泄物の観察を学ぶ		
基礎看護学方法論 III (導尿、浣腸、清潔操作)	排泄の異常を判断し、援助を学ぶ 清潔操作について理解し、摂子の取り扱いを学ぶ	30	1
基礎看護学方法論 III (与薬)	与薬の目的・方法を理解し援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 III (診察、検査)	診療の補助技術として検査の目的・方法を理解する 対象が安全・安楽に診察・検査が受けられるための援助を学ぶ		
基礎看護学方法論 IV (経過別・倫理)	症状の経過による患者・家族の心理を理解する 看護者の倫理綱領について学ぶ	30	1
基礎看護学方法論 IV (治療・症状別)	症状や治療に応じた看護を理解する		
基礎看護学方法論 IV (褥創ケア)	褥瘡時の看護について学び、演習を行う		
基礎看護学方法論 V (看護過程)	看護過程の概念を理解し、事例で看護過程の展開を学ぶ	30	1
基礎看護学方法論 VI (フィジカルアセスメント)	人体の形態・構造・機能を系統的に学習する フィジカルアセスメントによって客観的情報を収集し、その意味を正しく理解する	30	1
基礎看護学方法論 VII (看護と研究)	看護研究について学ぶ ケーススタディをまとめる	30	1
基礎看護学方法論 VIII (看護理論1)	看護理論に関する文献をもとに、看護の主要概念についてのグループワークを行い、そのプロセスをまとめ、発表する 個人レポート「私の看護観」を提出する	30	1
基礎看護学方法論 IX (看護理論2)	看護観に関する文献をもとに、看護の概念を自分たちの言葉で理解する グループワークで自己の存在や相手の個性に気づき相互理解を深める 個人レポート「私の看護観」を提出・発表する	30	1
基礎看護学 I・II (臨地実習)	病院における看護活動の実際を知る (I) 病院における看護の対象と看護活動の実際を知る (II)	45	1
基礎看護学 III (臨地実習)	基礎看護学で学んだ看護技術を看護活動の場で実践する	90	2
成人看護学概論	成人期における各期の発達課題を理解し、課題達成への取り組みと危機について理解し、発達課題達成と看護について理解する	30	1
成人看護学方法論 I (周術期)	手術侵襲に対する生体反応を理解し、合併症予防のための周術期の看護を学ぶ 術式を理解した上で損なわれた機能の回復を促すための援助方法を学ぶ	30	1
成人看護学方法論 II (急性/回復期)	急性期にある患者の特徴を理解し、観察の重要性と苦痛緩和への援助方法を学ぶ 急性期から回復期の経過にある患者とその家族を理解し、看護の方法を理解する	30	1

授業科目	内容	総時間数	単位数
成人看護学方法論Ⅲ(慢性期)	成人期の健康問題を理解し、慢性期における患者とその家族を理解し、看護の方法を理解する	30	1
成人看護学方法論Ⅳ(終末期)	終末期にある患者とその家族を理解し、対象とする人々の尊厳と生と死について考える 症状のメカニズムや緩和するための知識やケアの方法を理解する	30	1
成人看護学方法論Ⅴ(事例展開)	事例を用いて看護過程を展開する	30	1
成人看護学方法論Ⅴ(技術)	成人看護に必要な看護技術の理論(根拠)を理解し、技術を習得する		
成人看護学Ⅰ(臨地実習)(周術期)	周術期看護の特殊性を理解する 実習で体験した看護実践から周術期について考える 周術期における安全の視点をふまえた看護を実践する	90	2
成人看護学Ⅱ(臨地実習)(慢性期)	慢性期にあり自己管理を必要とする対象を理解し、セルフケア確立への援助を学ぶ 対象に合わせた看護過程の展開ができるようにする 慢性期における技術を習得する	90	2
成人看護学Ⅲ(臨地実習)(終末期)	対象の身体的、精神的、社会的、霊的側面から全人的苦痛を理解する 対象や家族の苦痛を緩和するための援助を考え実施する 終末期看護における安全の視点をふまえた看護を実践する	90	2
老年看護学概論	老年看護学の対象、看護の目的・役割と機能を理解する	30	1
老年看護学方法論Ⅰ	老年保健・医療・福祉のシステムとその援助を理解する 老年の生活機能の評価とそのアセスメントを理解する	30	1
老年看護学方法論Ⅱ	老年に多い疾患を理解し、対象への援助方法を理解する	30	1
老年看護学方法論Ⅲ	老年患者の状態に応じた日常生活援助を理解し、技術を習得する	30	1
老年看護学Ⅰ(臨地実習)	老年期における身体的・心理的・社会的特徴を理解する 高齢者との関わりから、自己の老年観を深める	90	2
老年看護学Ⅱ(臨地実習)	老年看護の特殊性を理解し、対象のセルフケア能力を高め・維持するために必要な援助を実施し、安全の視点をふまえた看護を実施する	90	2
小児看護学概論	小児看護学の対象・看護の目的と小児看護学の理念と役割を理解する	30	1
小児看護学方法論Ⅰ	小児期の成長発達を理解し、成長発達と健康を増進する援助を理解する	15	1
小児看護学方法論Ⅱ	小児期に特有な疾患を理解する	30	1
小児看護学方法論Ⅲ	健康を障害された小児と家族を理解し、看護の方法を理解する	30	1
小児看護学(臨地実習)	健康障害が小児や家族に及ぼす影響を理解し、回復過程への援助及び成長発達への援助を考え実践する	90	2
母性看護学概論	母性に関する概念と意義および特性、役割について理解する	15	1
母性看護学Ⅰ	母性看護の対象の発達課題を把握し、健全な母性機能を果たすための保健活動の重要性を理解する	30	1
母性看護学Ⅱ	妊娠・分娩・産褥期における対象の身体的、心理社会的変化について理解する	30	1
母性看護学Ⅲ	妊娠・分娩・産褥期における対象の身体的、心理社会的変化について理解し、それらに円滑に適応するために必要な日常生活援助について考える	30	1
母性看護学(臨地実習)	妊娠・出産の経過を理解し、産婦に対する看護を実践する 新生児の特徴を理解し、援助の実際を知る	90	2
精神看護学概論	精神看護学の対象と目的、精神看護の役割と機能を理解する 精神看護の特徴を理解し、人権尊重の態度を養う	30	1
精神看護学方法論Ⅰ	心の働き・健康・発達と適応について理解する 精神保健福祉活動の展開を理解する	30	1
精神看護学方法論Ⅱ	精神疾患と治療を理解する	15	1
精神看護学方法論Ⅲ	精神疾患を持つ患者の状態に応じた看護の方法を理解する	30	1
精神看護学(臨地実習)	精神障害をもつ対象の看護の特殊性を知り、対象の地域生活を支えるための精神保健・医療・福祉の現状と多職種連携の実際を理解する 精神看護における安全の視点をふまえた看護を実践する	90	2

授業科目	内容	総時間数	単位数
在宅看護概論	地域看護活動における在宅看護の位置付けと、在宅看護の目的・機能・役割、対象の特徴とニーズについて理解する	30	2
在宅看護方法論Ⅰ	在宅看護の実際を理解し、地域社会の保健医療福祉を学ぶ	30	1
在宅看護方法論Ⅱ	在宅看護の特徴を理解し、対象に必要な看護技術を提供する方法を習得する	30	1
在宅看護学(臨地実習)	訪問看護ステーション実習により、対象者や家族の生活を知り、支援の在り方を学ぶ 居宅看護支援事業所の機能と役割を理解する 地域保健活動の実際を知る	90	2
看護の統合と実践Ⅰ(国際看護)	世界の健康問題と地域間格差、保健衛生状況の実際を学ぶ 異文化の理解と文化を考慮した看護、国際協力とそのしくみ、国際看護活動の実際を学ぶ	30	1
看護の統合と実践Ⅰ(災害看護)	災害および災害看護に関する基礎的知識、災害発生時の社会の対応やしくみを学ぶ 災害が人々の生命や生活におよぼす影響、看護が果たす役割とその看護活動を学ぶ		
看護の統合と実践Ⅰ(看護管理)	看護ケア、看護職のキャリア、看護サービスのマネジメントを学ぶ マネジメントに必要な知識と技術を学ぶ		
看護の統合と実践Ⅱ(医療安全1)	医療安全に関する基礎的知識を身につけ、医療事故につながる危険因子について認識し、療育環境における安全な看護技術について理解する	30	1
看護の統合と実践Ⅲ(医療安全2)	看護・医療事故予防の根幹となる看護倫理や方策について学ぶ 医療現場における危険認識力と危険回避の判断力を身につける	30	1
看護の統合と実践Ⅳ(看護技術の総合評価)	基礎看護技術の原理原則を理解し、対象の安全・安楽を考えた技術を習得する 看護計画立案・実施・評価する能力を身につける	30	1
統合看護実習	ペア実習・夜間実習・管理実習を実践する	90	2

※色塗りは本校専任教員のみで担当